

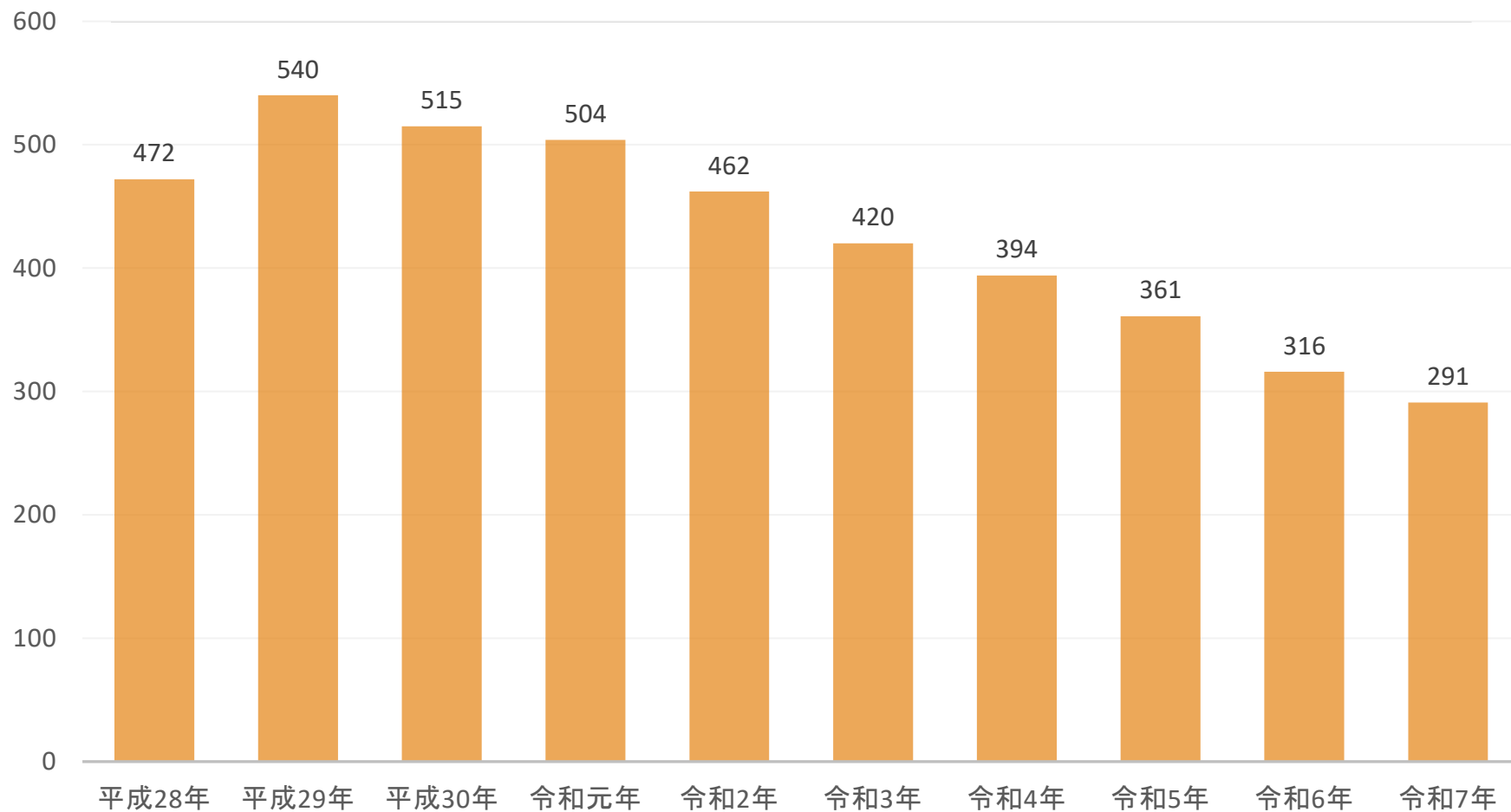
# 令和7年 不妊治療成績

令和7年1月～12月  
可世木レディースクリニック

# 年度別妊娠達成者

人

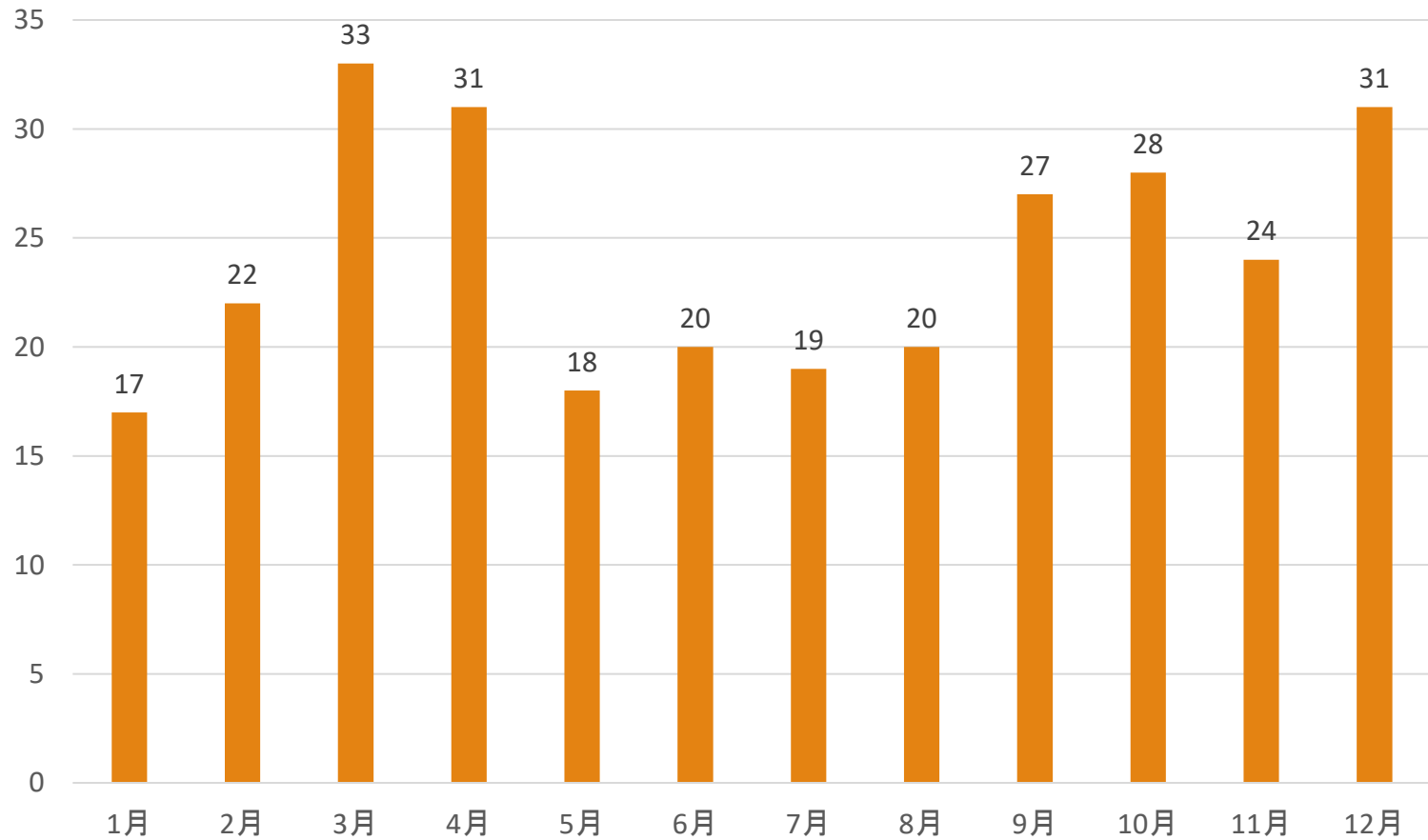
妊娠達成者291人



# 月別妊娠達成者

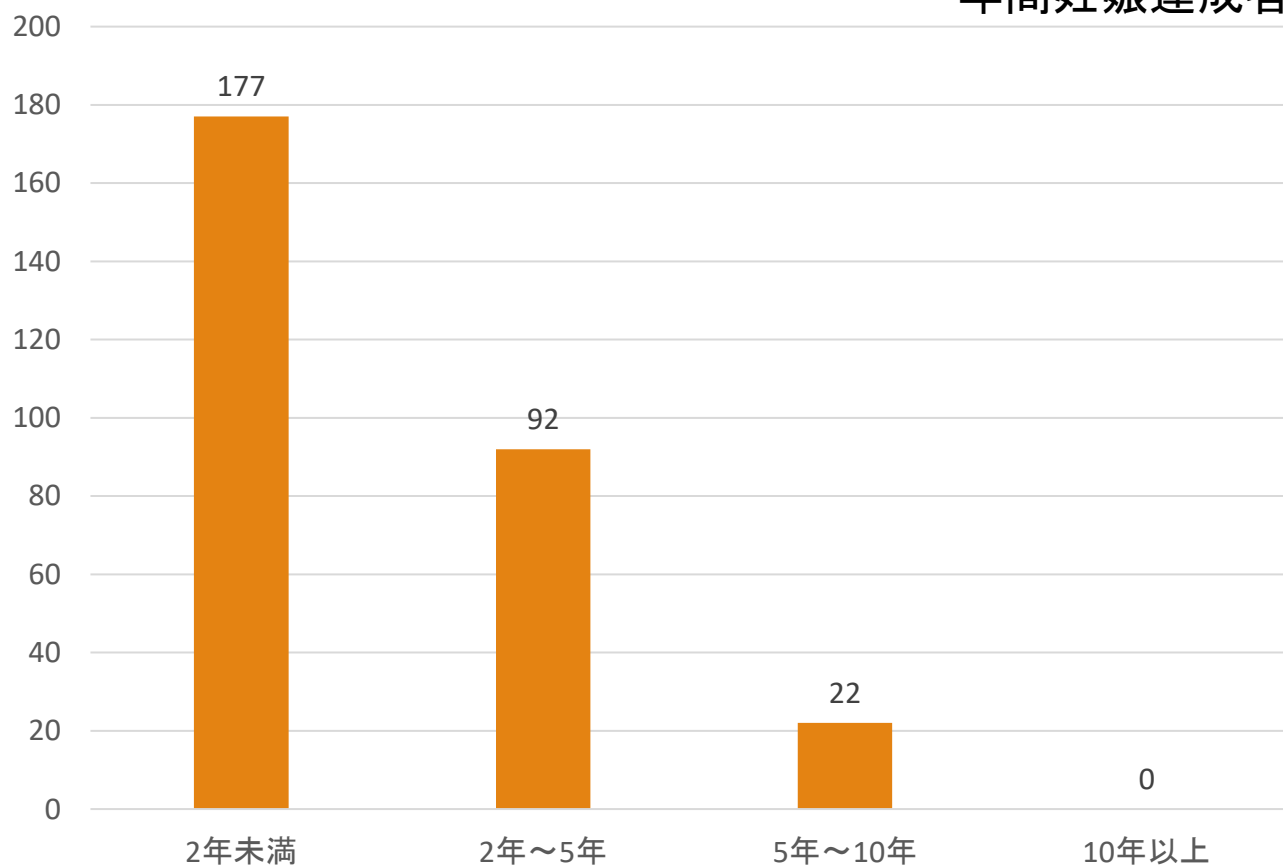
人

年間妊娠達成者291人



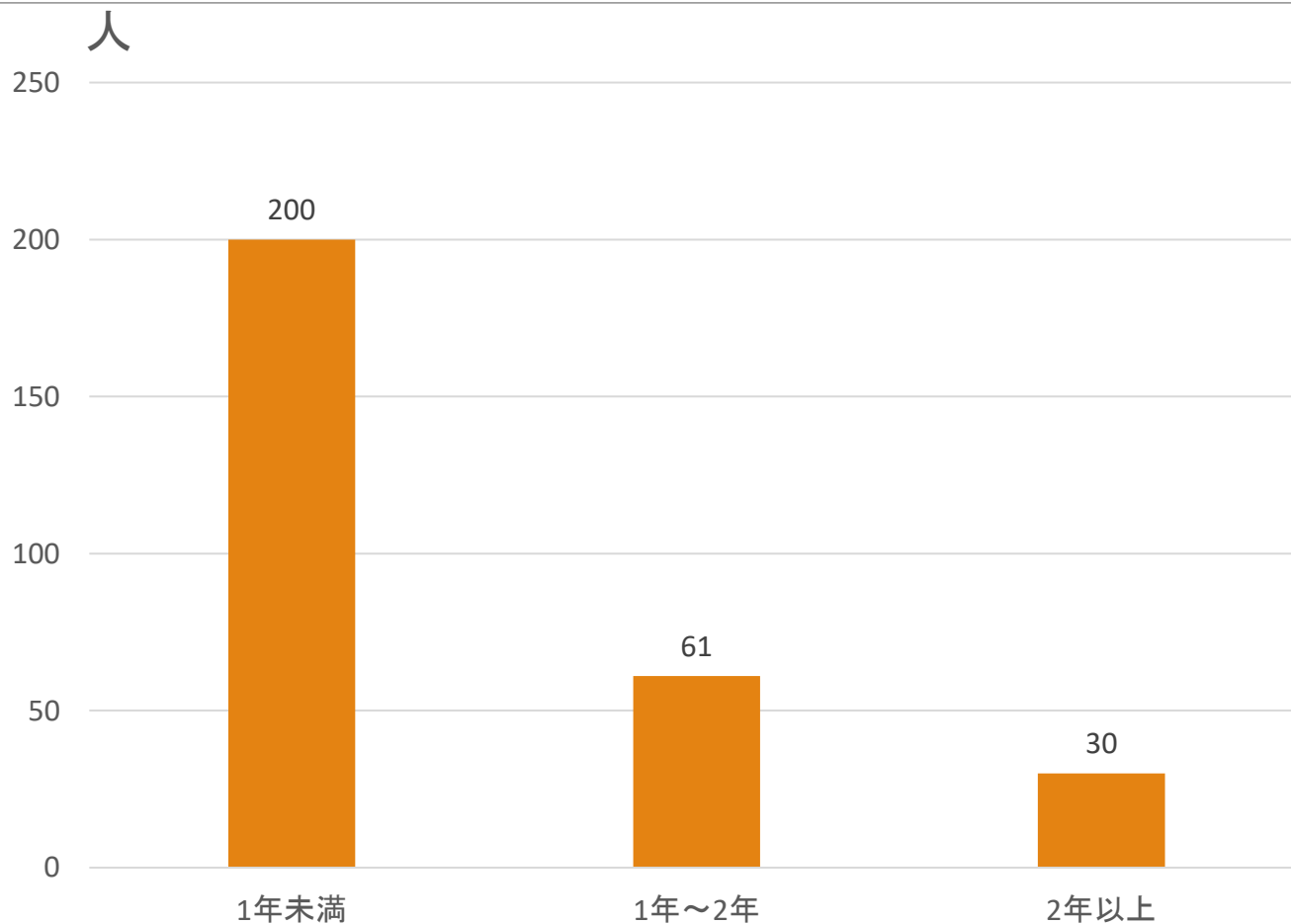
# 妊娠達成までの不妊年数

年間妊娠達成者 291人



# 初診から妊娠達成までの年数

年間妊娠達成者 291人



# 主な治療方法

---

- ① ART  
IVF  
ICSI  
凍結ET
  - ② AIH
  - ③ CC
  - ④ CC+HMG
  - ⑤ HSG後、通水後
  - ⑥ タイミング、自然妊娠
  - ⑦ その他（腹腔鏡、黄体補充、漢方など）
  - ⑧ シリンジ
-

# 治療法別妊娠達成者数

妊娠達成者291人 人

---

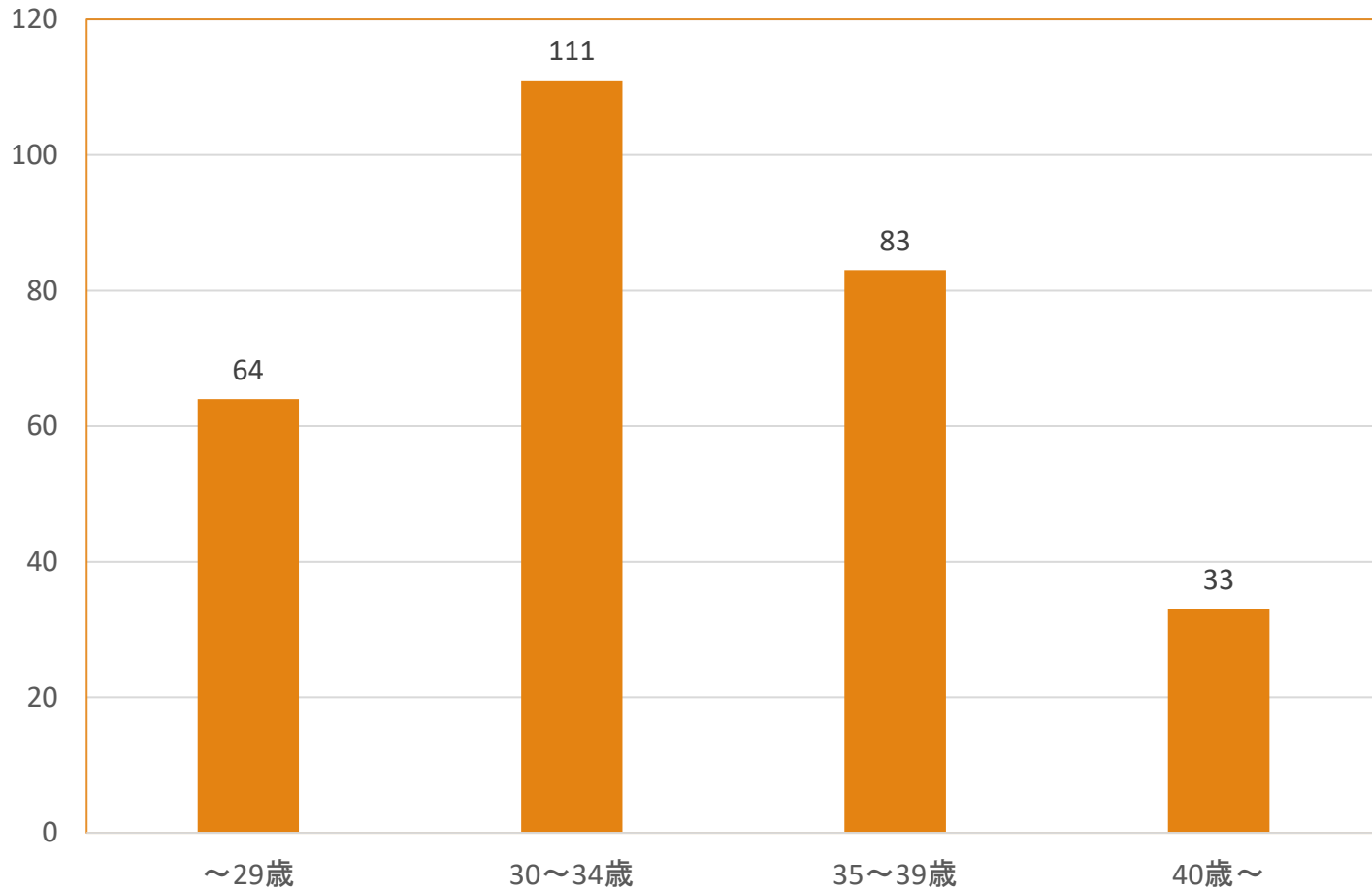
①	ART	168
	IVF	0
	ICSI	0
	凍結ET	168
②	AIH	51
③	CC	21
④	CC+HMG	4
⑤	HSG後、通水後	11
⑥	タイミング、自然妊娠	30
⑦	その他（腹腔鏡、黄体補充、漢方など）	3
⑧	シリンジ	3
	計	291

---

# 年齢別妊娠達成者

人

妊娠者291人

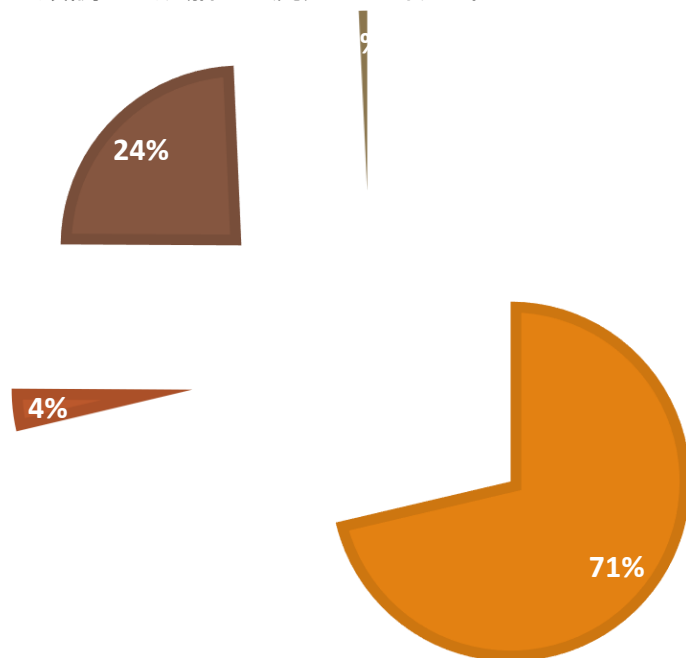




# 妊娠後の経過

妊娠者291人

■ 順調 ■ 双胎 ■ 流産 ■ 外妊・他



順調 209人

双胎 9人

流産 71人

外妊・他 2人

妊娠者 291人

# 治療法別流産率

	妊娠者	流産数	流産率(%)
① ART	168	55	32.8
IVF	0	0	0
ICSI	0	0	0
凍結ET	168	55	32.8
② AIH	51	5	9.8
③ CC	21	4	19.0
④ CC+HMG	4	1	25.0
⑤ HSG後、通水後	11	0	0
⑥ タイミング、自然妊娠	30	6	20.0
⑦ その他(黄体補充他)	3	0	0
⑧ シリンジ	3	0	0
計	291	71	24.4

# 年齢別流産率

---

	妊娠者	流産数	流産率(%)
～29歳	64	9	14.1
30～34歳	111	25	22.5
35～39歳	83	25	30.1
40歳～	33	12	36.4
計	291	71	24.4

# 40歳以上の妊娠達成者治療法

40歳以上は33人

---

ART	25人
IVF	0人
ICSI	0人
凍結ET	25人
一般不妊治療	8人
計	33人

---

# 排卵誘発別AIH妊娠者数

---

AIH妊娠者51人

---

誘発なし	18
CC誘発	28
CC+HMG誘発	5
計	51

---

# 治療法別の双胎妊娠数

全妊娠者数291人

---

クロミッドのみ	3例
クロミッド＋HMG	2例
自然妊娠	0例
ART	6例
<hr/>	
計	11例

---

# 凍結胚移植成績

ホルモン補充周期/自然排卵周期  
令和5年1月～12月

	移植数	妊娠数	妊娠率(%)
ホルモン補充周期	501	197	39.3
自然排卵周期	130	49	37.7
計	631	246	39.0

AIH(人工授精)		10年間の成績				
	患者数	周期数	妊娠数	妊娠率(%) (妊娠数/患者数)	妊娠率(%) (妊娠数/周期数)	
平成21年	244	613	35	14.30%	5.70%	
平成22年	274	717	51	18.60%	7.10%	
平成23年	267	756	55	20.60%	7.30%	
平成24年	320	850	72	22.50%	8.50%	
平成25年	310	814	54	17.40%	6.60%	
平成26年	323	883	68	21.10%	7.70%	
平成27年	397	1078	76	19.10%	7.10%	
平成28年	382	1024	53	13.90%	5.20%	
平成29年	312	789	61	19.60%	7.70%	
平成30年	303	810	55	18.20%	6.80%	
合計	3132	8334	580	18.50%	7.00%	



# 令和7年ART治療成績

## 凍結融解胚移植

治療周期数	胚移植周期数	妊娠数	妊娠率(%)
479	471	160	34.0

## 年齢別成績

年齢	胚移植周期数	妊娠数	妊娠率(%)
～29	54	24	44.4
30～34	166	57	34.3
35～39	159	54	34.0
40～	92	25	27.2
合計	471	160	34.0

# 解説

令和7年の治療成績がまとまりましたのでご報告します。

妊娠達成者数は以前は500人を超していた時もありましたが、一昨年は316人、昨年は291人とかなりで減りました。この傾向は当院だけでなく、多くの医院がピーク時の2/3程度になったとの報告をしており、出生数が日本全体で68万人を切ったとの報告がうなずけるところです。社会全体が結婚や妊娠に関心ない、あるいはそんな余裕がないということなのでしょうか？

妊娠者291人の内訳は、ARTが168人(57.7%)、一般不妊治療が123人でした。ARTの占める割合がここ3年間は60%前後です。外来受診者数では、一般不妊治療患者数がART患者数の数倍多いことを考えるとARTの方が確率が高いことは明らかに言えます。

流産率は全体で24.4%で前年とほぼ同じでした。ARTだけに限ると流産率は32%で上昇しました。とても残念な結果で、もう少し減らしたいものです。

40歳以上の妊娠について述べますと、妊娠達成者は33人で、その内25人がARTでの妊娠です。40歳以上は一般不妊治療ではなかなか結果を出せず、ARTでも妊娠率が下がります。保険適応の移植回数は30才代で始めれば6回許されるのに対して、40歳を超すと3回だけになります。40歳が近づいたケースではなるべく30才代でARTに踏み切った方がいいように思います。少しでも若いうちに妊娠を目指して欲しいことは言うまでもありません。

双胎は全体で11例でした。その内ARTでの双胎は6例でした。胚移植は原則1個ですが、保険適応になって移植回数の制限が加わったため、適応回数が少なくなると2個移植して妊娠率を上げようとします。年齢、移植回数、胚のグレード等を考慮し移植数を考えたいと思います。

令和7年ART治療成績もご覧ください。新鮮胚移植より凍結胚移植の方が成績がよいことから、当院では移植は全例、凍結胚移植でした。しかし、移植方法は個別に検討していますのでご相談ください。自然排卵周期とホルモン補充周期での凍結胚移植成績に差がありませんので、月経周期が安定している方は自然排卵周期での移植でいいと思います。

毎月の妊娠達成者を治療内容とともに、クリニック内に掲示しています(もちろん名は出していませんが)。一人でも多くの方に掲示表に載って頂けるよう頑張っていきたいと思います。